

---

◎町長行政報告

○議長（土屋清武君） 日程第8、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） それでは行政報告を申し上げます。

本来なら平成29年9月以降の動向や主な事業についてご説明をさせていただくところですが、12月14日就任したばかりでございますので、就任してからの事案について触れさせていただきたいと思っております。

1つ目は、就任した翌日の15日に下田総合庁舎で開催された賀茂地域広域連携会議に関するところでございます。

内容については新聞等でも報道されましたが、賀茂地方税債権整理回収協議会を平成30年度以降も存続させることと、介護事業所の指導監督が市町に権限移譲されることに対応するため共同で実施する協定を締結してまいりました。

この2つの事業協定は各市町の事務負担が軽減するとともに、事業効果が期待できるもので、このような流れは他の事業でも進むものと思われまます。

またこの連携会議は賀茂地区の健康に関する課題等にも取り組みをしており、糖尿病等の重症化予防についても基本協定書署名及び協議会発足も行う予定でございましたが、今月に入って県から糖尿病の重症化予防以外の生活習慣病についても時間をかけて幅広く検討したいとの意向があり、県と賀茂1市5町による基本協定の署名等は来年2月に延期することになりましたことをご報告申し上げます。

そして2点目でございますが、この12月20日に県庁に出向き、川勝県知事や県幹部の方と面会をいたしました。

県知事は、私が考えているさくら葉事業にも共感くださいましたし、県幹部の方々からも港湾、漁港、道路整備などに関する事業にも深い理解を示していただきました。

そして、最後になりますが、現在、町では平成30年度予算編成作業を進めており、1月になりましたら本格的に調整をしてまいります。堅実な財政規律を維持しつつも、町の収益に繋がる事業については積極果敢に取り込むとともに、地元からの要望についてはできるだけお応えできるよう取り組みをしたいと思っております。皆様も危険な個所などの情報や、町にとって必要である事業などの構想もあろうかと思っております。ぜひ、お聞かせいただきたいと思います。

それでは、平成 29 年度 11 月までの町営施設の入館状況、公営会計の経営状況の 2 件について担当課長からご報告させていただきます。

以上です。

○企画観光課長（高橋良延君） それでは、企画観光課から行政報告 1 番、町営観光施設の入館状況につきまして資料ナンバー 1 によりご報告させていただきます。

はじめに、1 ページ、「伊豆まつぎき荘」でございます。右側の 11 月末までの累計の比較で説明をさせていただきます。

宿泊利用人員は、210 名減の 1 万 5387 人となっており、入浴、休憩利用人員を加えました利用者数は 498 人増の 2 万 3045 人となりました。

収益につきましては、前年度より 176 万 2000 円増加し、2 億 690 万 1000 円となりました。公債費、減価償却費を按分して加えた事業費用につきましては前年度より 113 万 5000 円増加し、2 億 245 万 9000 円となり、差引利益につきましては、444 万 2000 円となり前年度より 62 万 7000 円増加しました。

続きまして、2 ページをお願いいたします。伊豆の長八美術館でございます。伊豆の長八美術館は 11 月末現在、1554 人減の 1 万 7060 人でございます。収支差額につきましては、マイナスの 630 万 5000 円で前年度より 75 万 5000 円ほどマイナスとなっております。

続きまして、重要文化財岩科学校でございます。11 月末現在 1259 人減の 9863 人、収支差額につきましてはマイナスの 482 万円で前年度より 36 万 2000 円ほどマイナスとなっている状況でございます。

続きまして、3 ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございます。11 月末現在、285 人減 7942 人でございます。差引収支差額につきましてはマイナス 473 万 7000 円ということで、前年度より 130 万 7000 円ほどマイナスということになっているところでございます。

続いて、民芸館でございます。民芸館につきましては、11 月末現在、248 人減の 4520 人ということでございます。収支差額については、マイナスの 180 万 9000 円となっておりますが、前年度に比べまして 154 万 2000 円ほど収支については改善しているという状況でございます。

最後に、4 ページをお願いしたいと思います。4 ページにつきましては、道の駅花の三聖苑でございます。11 月末現在、256 人増の 3 万 2445 人でございます。収支差額につきましては、マイナスの 562 万 9000 円ということで、前年度より 178 万 3000 円ほどマイナスとなっている状況でございます。

総括いたしますと、11 月末までの累計では、伊豆まつぎき荘においては利益が増加していると

ころでございます。

また、民芸館において収支が昨年度より改善しており道の駅花の三聖苑につきましては、利用者は前年比増という状況となっているところでございます。

伊豆まつざき荘については、10月に台風等の影響で大きな宿泊利用者の減がありましたけれども、7月から休前日の宿泊料を上げさせていただきました。その結果、収益については、利用者は減りましたが、収益については増加ということで前年度よりも利益としては増加しているということでございます。

今後もより多くのお客様に利用していただくよう営業活動の強化はもとより特別展の企画ですとか、体験事業等々の実施によりまして、観光施設の情報発信等に努めてまいりたいと思います。

以上、町営観光施設の入館状況についてのご報告とさせていただきます。

○生活環境課長（馬場順三君） それでは、生活環境課の方から行政報告の2番目、公営企業会計平成29年11月末の経営状況についてご報告をさせていただきます。資料ナンバー2をお願いいたします。

はじめに水道事業会計の方でございます。本年度11月末収益につきましては、営業収益・営業外収益を合わせまして、①になりますけれども、9019万5000円、前年対比169万1000円、1.8パーセントの減となっております。理由としましては、11月末現在の有収水量につきまして58万7943m<sup>3</sup>で、一般用と営業用の減少に伴います収益減となっております。

また、予定収益を加えました事業収益の合計は④になりますけれども、9835万2000円、前年対比167万2000円、1.7パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございますが、営業費用に予定費用を加えました合計⑦になりますけれども、8318万9000円、前年対比327万3000円、3.8パーセントの減となっております。

その結果、差引純利益につきましては、1516万3000円、前年対比160万1000円、11.8パーセントの増となっております。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに、収益の方でございますが、営業収益・営業外収益を合わせまして、①になりますが、3947万6000円、前年対比44万6000円、1.1パーセントの減となっております。昨年同期と比べまして休止が増えたことに伴いまして収益が減少しております。

予定収益を加えました事業収益の合計は④になりますけれども、4104万5000円、前年対比41万9000円、1パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございますが、営業費用に予定費用を加えました合計は⑦になりますが、3242

万 3000 円、前年対比 97 万 2000 円、3.1 パーセントの増となっております。

その結果、差引純利益につきましては、862 万 2000 円、前年対比 139 万 1000 円、13.9 パーセントの減となっております。

両会計とも利益を確保しておりますけれども、水道事業におきましては、使用水量の減少が続いているところでございます。

また、温泉事業につきましては、引き続きまして新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上、11 月末公営企業会計の状況についてのご報告とさせていただきます。

○議長（土屋清武君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩します。

（午前 9 時 30 分）

---